

鶴川図書館大好き!の会との打合せ 簡易記録

- 日時 2020.7.14 14:00～16:00
- 場所 鶴川5丁目集会所 ふれあいルーム
- 出席者 鶴川図書館大好き!の会 3人 (NH、MK、YS)
鶴川団地自治会 会長、事務局長、常任委員 (HS、HT、T)
図書館側 係長、他1名(S)

【係長】 本日はこのような時期に貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。中央図書館、企画・地域支援係です。鶴川の再編は2022年度を目標に、新しい形の図書館を考えています。請願を議会で出されて継続審議になり、その中で図書館が地域の方の意見をお伺いできてはいないのではないかと、という話が出ていることもあり、今回は鶴川図書館大好きの会の中でも鶴川地域の方に来ていただきました。今日は私共の話をするわけではなく、皆さまのご意見を聞かせていただきたいと思います。

まずこのままの状況では良くないと思っている。前向きな状況にしたい。

私は図書館2年目で、去年はサービス担当で今年から新しい係になりました。私は策定にはかかわっておりませんが、前年度にアクションプランが策定されました。もともとは公共施設再編計画の中で、鶴川図書館と鶴川駅前図書館の利用圏域に重なりがあることなどから、2026年度までに再編しようという話でした。その後2019年に「図書館あり方見直し方針」、2020年にアクションプランができてそこで2022年度の再編を目指すとしており、それは皆さんにとっては唐突感があったのではないかと思います。ただ、市としては鶴川図書館を0にするわけではなく、地域の方との共同運営のような新しいものにシフトしていくつもりです。それにより今まで100できたものがひょっとしたら70になることはあるかもしれないが、どのサービスを残すか、あるいは物販のように市だと実現し難いサービスを加えるかを考え、どのようなサービスが今後必要かを皆様と話し合っていきたい。これは2022年度ありきの話しではなく、地元との話し合いによっては、時期がずれることもあります。

元々は鶴川の再編はURが先行で進めていた話だったが、その話し合いが進まず、図書館の話がいつの間にか追い越してしまいましたが、当然その部分の影響もうけてくるだろうと思います。

ここからは個人的な意見だが、2011年度と2019年度を比べると貸出冊数が町田市全体で4割減っており、鶴川図書館単体では7割減っている。2012年に鶴川駅前図書館ができたのも大きいらしい。アンケート調査を2012年と2015年に行っているが、そこからも多くの方が鶴川図書館と鶴川駅前図書館を両方利用していることが分かる。また、そもそも図書館自体の利用者が減っているので、図書館側も発想を転換していく必要がある。その中でも鶴川図書館が特に厳しい状況にある。仮に2022年を先延ばしにしたとしても、公共施設再編計画で市の方針が示されている以上、どこかのタイミングで図書館を無くそうという話が出てくるだろう。生き残るためには、小規模図書館は何かカラーをつけないといけないと思う。鶴川でも他の図書館でやっていないような特色をつけると持続可能性が高まるのかな、と思っている。

そう考えるとやはり次のやり方へのステップを皆様と我々で一緒に考えていくのは、決して皆さまにとっても悪い話ではないのではないかと思います。

【YS】鈴木真佐世さんから八王子の資料を預かっています。八王子の人口は町田より多いが、図書館は9館です。それ以外に地域センターに分室の小規模なものがあり、ゆくゆくは中央図書館の分館にしていこうというもので、そこが町田市とは方向性の違う取組みのようです。

【HT】この先鶴川図書館が新しいもの変わったとして、人件費を市が出すところまで話は決まっているのか？

【係長】決まってはいるが、仮に地域の方がカウンターとかに出て市から司書はこちらから出したとしても、運営費はある程度市から出すイメージです。どこまでかは話し合いの中で決めていきます。

【HT】八王子市の図書館は町田市と同じなのか。

【係長】図書館と図書室は、字は一字しか違いませんが中身はかなり違います。利用者さんが受けるサービスは同じだが、図書室は図書館ネットワークと繋がっていません。また、人件費が最低賃金に時間数をかけた額なので、そのコストは大きく違います。

【HT】司書資格のある人はいますか？

【係長】書が一人はいます。他は地元の人で、初めに職員が機械の使い方などの研修をします。図書館と図書室の違いは開館時間と日数で、図書室は週2~3日の開館。八王子はもともと市民図書室があったので、利用数が多い所などを図書館に格上げしたので、そこは町田とは違います。町田がやるとしたら0からになるので、八王子ほど簡単ではないと思っています。

【YS】まずは自己紹介をしましょう。

【S】この4月から図書館で働いていますSです。住まいは成瀬で金森図書館や中央図書館を子どもと利用しています。図書館スタッフというよりは、利用者の一人として皆さんのお話を聞かせていただき、勉強していきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

【T】近くに住んでいて常任委員をしていますTです。鶴川図書館をよく使っていますが、先ほどの話にあったように利用者が減っているイメージはないです。鶴川駅前図書館はゆっくりできるスペースがあっていいので、鶴川図書館にもそのようなスペースがあって、コピー機も使えるといい。例えばお話し会のスペースの本を中央図書館に移動して、そこにくつろげるスペースを作るとか。あと蔵書が少なくても、その分リクエストして借りられるといいですね。先ほどの話で、図書館と図書室は分かりましたが、分室とはなんですか？

【HT】図書館の分室は本の保管場所のことで人は立ち入らないところです。

【T】そうなのですね。

【係長】毎年多くの本を購入しますので、書庫も含めてすぐに満杯になってしまいます。定期的に除籍と言って、廃棄したり、イベントのときに渡したりしています。図書館によっては「借りられたことがない本のコーナー」を作る場合もあります。

【NU】この団地に住んでいるUです。2つ言いたい。一つ目は、鶴川図書館は団地のお年を召した方が、新聞読んだり、憩いの場として過ごしたりしているということ。二つ目は、先日「子どもの権利条約」について本を探す際、職員と一緒に探してくれました。パソコンが使えればいいが、そうでないので職員との距離が近いのがいいです。また、予約では中身が見られないので、その場で手に取って見られるのが良いです。

【MK】鶴川2丁目在住のKです。上の子妊娠中、図書館の場所を不動産屋に確認したうえで、引

っ越してきました。中学生、小学生の子どもを含む4人家族です。私は「町田市立図書館は全て私の本棚」という感じで、本を借りる場所と返却場所はその時々合った場所を利用し、家族みんなで利用しています。鶴川駅前図書館だけでは不便。うちは検索機をよく使うのですが、鶴川図書館は検索機を落ち着いて使えるし、買物や学校帰りなど生活の動線上にあるのでいいです。小学生の子供は、鶴川駅前図書館はまだ怖くていけないです。家族にそれぞれ合った図書館を使い分けています。

また、ライトユーザーとヘビーユーザーは図書館の使い方が違いますよね。私は書庫や近在図書館から借りるといような知識がありますし、司書さんにレファレンス相談もするほうです。図書館という建物、蔵書、司書を言葉は良くないかもしれないがうまく利用した方がもっと図書館は活性化するだろうと思います。

先日市から学校の再編の書類が来た。学校（鶴二小と鶴三小）の統合があるとしたら、2つの小学校と鶴二中のそばにある鶴川図書館の潜在的な可能性が広がるのではないか。学校図書館司書や司書教諭が公営図書館の司書と連携することによって「私たちの町探検、調べ学習や職場体験」以外にもアイデアが出てくるかもしれない。医療と同じで、利用者が1/3になったからといってやめてはいけないと思います。1/3の人が必要としているのだから。一度やめてしまっても足りなくなっても新しく立ち上げるのは大変。まずは今のままで補えない部分をどうやって補っていくのかを考えるのが大事です。今までどおりは難しいかもしれないが、形を変えて100%の図書館があってほしいです。

【YS】図書館を応援する「つるかわ図書っこ応援団」を立ち上げた。そこで紙芝居ワークショップ「かみしばいつくっちゃおう！」を開催する予定だ。鶴川大好きの会でステッカーも作りました。住民は努力しているのです。今後の鶴川図書館に関しては、どういう町を作っていくか、子どもや高齢者が豊かに安心して住める町にしていくか、という視点が基本にあると思います。今、住民が利用している図書館をなぜなくすのか。サッカー場になどに75億も使うのに年600万円の運営費（注：職員及び会計年度任用職員の人件費を除く）の図書館がなぜ潰されるのか？大型予算を組んでいて財政が逼迫しているわけではない。税金の使い方だ。せっかくあるものをなくさなければいけないのか。2011年から図書資料費が下がり、これでは図書館の魅力づくりができないだろう。町田市には町を作っていくという思想がないのが残念です。

【HT】商店会の一員のTです。商店会には活気が必要であり、それは住みたい町の条件になると思う。今商店会に活気がある理由が図書館の存在だと思うので、ぜひ残していきたい。この辺りは年配の人が多く、新聞を取っていないので、図書館で新聞を読むのが日課の方が多い。

【YS】町のインフラの一つですよ。

【MK】安心見守りステーションができ、多世代交流込みで図書館のことを考えていけたらいいと思う。鶴川図書館に来ることだけを目的に来ている人だけではない。

【HT】鶴川図書館の駐車場があることがいい、駅前図書館の駐車場は有料だし、駐輪場は狭いし使いづらい。

【係長】そうですね。皆さん鶴川図書館と鶴川駅前図書館をうまく使い分けていますよね。

【NU】鶴川図書館では、三輪の人は（車で来ているので）一回に大量に借りているし、金井の人も子どもと一緒に広場で遊んだり図書館で本を読んだり買い物したりと楽しんでいる。

【YS】そういう環境に図書館があるのはすばらしい。私の高齢の母の看護師さんは小学校の時毎日鶴川図書館に行って友だちと輪になって本を読んでいて、「鶴川図書館は心のふるさと」と

おっしゃっていた。そういうものをなくすのはおかしいし、市のお金の使い道もおかしい。

【T】 鶴川図書館は立地がとていいですね。生活動線が短いですし。

【MK】 子どもが使うのにいいサイズ感で、つきあいやすい。

【係長】 そうですね。子どもが書籍のラインナップを覚えるのにちょうどいいサイズですね。あと、親御さんの目も届きやすいですね。

【MK】 2～5歳ぐらいにちょうどいい。レストランには行けないがファミレスには行けるイメージ。

【HS】 (席を立っていたので戻ってきて) 鶴川団地自治会の役員をしています佐久間です。図書館にはあまり行っていないが、コピーがその場でできないのが不便だと感じています。田舎が千葉で町村合併が続き、村には学校が0になった。合併して過疎になり何も問題解決していないと感じた。お金の使い方を考えると、細かい地域分けをして高齢者が使う施設を作ったらどうか。大きい図書館を作ってもいけない。地域活性化には結び付きが大事。

【HT】 そのほうが図書館近くにある商店会の利用価値もあがるだろう。

【YS】 図書館資料費あげてくれたらもっといい。

【T】 鶴川図書館は古い本しか置いてない。(他館より鶴川図書館の) 扱いが悪いのではないかな。

【HT】 それは図書資料費が少ないから仕方がないだろう。

【YS】 町田市の図書資料費は多摩地区で最低である。これではいけないという意見は職員の間では出ていないのか？労働組合ではどうか？

【係長】 図書館としても資料費が低い水準にあるのは課題として認識していて、予算要求をしているが、獲得には至っていない。職員側から訴えるというのは自分が知る限りではあまりない。

【YS】 市民が言うしかないのか。

【係長】 図書館職員にも危機感がないといけなし、意識を変えていかないといけない。

【YS】 図書館カフェをした。そのとき担当課長と副館長が来たが、担当課長が「私たちは計画を進めるのが仕事だ」と言われたのが残念だった。市民の声は聴いてくれないのだな、と思った。

【係長】 行政は公金を思い付きでは使えない。何かをするときは、計画を立て、予算を要求し、理事者の了解を得て、議会を通すという流れがあり、民主的な手順で進めている。

【HT】 鶴川地区と、自治会長とで名前を連ねて請願を提出し採択されたが、反映されていない。

【係長】 公共施設再編の話については、全国的に総論賛成だが、各論反対になる。

【YS】 市は市民の話を聞かずに進めている。

【係長】 市民の意見を聞いている、というのが担当部署の説明になる。「ぷらっと Deli (でり)」をご存じですか？これは公共施設再編の趣旨とかを説明する場です。担当部署の職員が直接聞くこともありますが、イベント等で他部署の職員が聞くこともあります。草の根活動のように色々な場所で色々な方々に意見を聞いている。

【YS】 鶴川図書館をなくすという話はしていませんよね。

【係長】 施設を複合化して新しい建物が出来ることに対しては、あまり反対はしないのではないのでしょうか。

【MK】 それは本当に求めているものではない。公共施設再編をすると、コストは変わるのですか？

【係長】 コストは抑えられます。

【NU】 ここから町田に行くのは新宿に行くようなもので、1時間近くかかってとても遠い。住民のためを考えれば、まとめることより分散の方がよい。町田は交通機関が不便だし。

【係長】 小山田などはバスも少ないですしね。ただ、車で動けるうちはいいですが、運転しなくな

った後はどうするか難しいですね。

【YS】コロナがあって、地域の施設が重要になった。やはりまとめるより、地域に分散してほしい。

【MK】コロナウィルスの拡大で今教育格差は経済格差だといわれているが、それはよくない。教育は平等であるべきだ。図書館の利用者が減っているからといって、手放すのはいけない。一度やめてしまっても足りなくなっても新しく立ち上げるのは大変。利用者を増やす方法を頑張るべきだ。

【係長】もちろんそうなのですが、市としては、市全体のバランスを考えたり、税金を払っていらっしゃる市民全体の利益になったりするように考えないといけない。

【MK】今までどおりができないとしても、鶴川駅前を残して、鶴川図書館をなくして、小山田に新しい図書館を作るというのはありえるのか？

【係長】それはわからないが、鶴川図書館を新しい形にして、色々な魅力をつけると持続可能性が上がるのではないのでしょうか。鶴川図書館が取り上げられて、地域の人がいきいきしてくると他でもそれを真似しようという動きがでるのでは。

【MK】形が変わっても残す、のはしてもらえないだろうか。

【係長】繰り返しになりますが、鶴川図書館を無くすとは市も言っていません。形を変えたらずっと残る、と断言はできないが、可能性は高まるのではないか。

【MK】継続のための保障の一つとして、公的機関が関わるというのはできないのか。

【係長】保障はできないが、色々なカラーがあるといい。

【MK】公共図書館というのが大事。無料であることが大切であって、私設図書館を設立したり、民営化をして100円でも利用料をとったら来られなくなる子どもがでてしまう。

【係長】図書館は無料原則があるので、お金はとらない。

【NU】図書館法でなぜ無料原則があるのか突き詰めてほしい。市民のために開かれた場所であるべき。

【YS】図書室ではよくない。

【MK】私設図書館もよくない。

【YS】6月議会で自民党の方が言っていたが、岡山市では人口は町田市より多く、図書資料費は7億円で町田市の12億円より低い。岡山の正規職員は24名くらい、町田では55名くらいということだった。費用の使い方が違うと思った

【MK】図書館をなくす以外の方法を考えないといけない。

【YS】鶴川図書館をなくさないでほしいと、市長に手紙を書いたのだが、去年江波戸さんという方から電話が来た。「きっかけは何ですか」と聞かれて、そういう意見の市民を一人ひとりつぶしていくという雰囲気だった。「図書館を縮小するというのをあなたはどのように思っているのですか」とこちらから聞いたら、市の財政を考えると仕方がない、と言われた。

【MK】市の財政的にどうしようもないとしても、どうにかする知恵をだす姿勢が市にない。もっと信じられるようにしてほしい。ワークショップでは市民の意見を聞くのかと思ったら、ワークショップ後に鶴川駅前図書館だけで足りているという結論をだされて嫌な気持ちになった。

【係長】こちらとしては敵対する気はない。一緒に考えていけたらと考えています。

【YS】ワークショップでは公共施設再編の話はあったが、鶴川がなくなるという話はなかった。

鶴川図書館が残る前提で、「集える場所が欲しい」等の意見がでたが、市はその部分だけを利用した。

【MK】先日行われたアンケートもおかしい。メリット・デメリットの両方載せたらいいのだが。

【係長】図書館を利用する多くの人にとって、指定管理か否か、職員が司書か否か、とうことはあまり気にしないのではないか。

【MK】確かにそう。カウンターの人のことしか見ていない。もっと図書館のバックのこと、司書がいなくなることのデメリットを分かっていない。

【係長】そうですね。

【MK】職員は上から決められた仕事をするしかないのか。

【係長】厳密に言えば地方公務員法の規定に従う、と言う事になるが、これは違うな、と思ったことがある。私は上司に対しても意見を言うことはある。ただ、立場によって見えている絵は違うと思う。皆さんおっしゃる通り、お金をかけなくても取り組めることはたくさんあると思う。図書館は課題が山積み。今大きな改革の時期に来ていると思う。そういうこともあり、皆様から忌憚ないご意見を聞かせて頂ければありがたいです。

【YS】意見を聞いたらどうするのか。

【係長】鶴川エリアの将来像を地域の人と話し合っていきたいと思っている。今後は具体的に決めていきたい。商店会とかURとかと一緒に地域がよりよくなるように、団地のまちづくりの中の一つとして皆で考えていきたい。

【MK】請願の受け止められ方がわからないから、図書館の代表者とだけ話すのではなく、図書館員と一緒に話し合っていきたい。それはできますか？

【係長】もちろん可能です。鶴川図書館の担当係長、鶴川駅前図書館の係長、司書資格を持っているベテランの職員も一緒に話をしてもいいかもしれないですね。

【MK】市民だけではできることが限られるので、中川さんが他市の話し合いに行くときなど、取り持ってほしい。例えば八王子とか。

【係長】鶴川図書館の今後を考える視察団という形であればできると思います。

【MK】他の図書館のことを知らないと判断できない。

【係長】そうですね。まず皆さんと前向きに話をしていきたいと思っています。

【MK】図書館員と市民で同じ方向を向いていきたい。

【係長】お互い満足いくかは難しいかもしれないが、その折り合いがつくところを話して決めていきたい。

【MK】信頼が大事。そのためには合う回数も多く必要だろう。2年後に方向性を決めきるのは難しいのではないか。

【係長】そうですね。私たちとしても信頼を大事にしていきたい。必ず2年後に決めきるのではなく、決めきれなければ2年後よりもっと遅くなることもあるだろう。

今回コロナの問題がある中で、確実なものとはなくなってきたと思う。図書館で得られるような広い知識が大事だ。これから図書館の価値は上がるはず。子どもたちに多様な選択肢があるのが、本当の豊かさではないか。ただ、財源の見通しが厳しい中で、何を選択するか、という話になってしまう。

今は新しいものを作る段階から、一緒にやっていく時代だと思う。今回の八王子の資料もとてもありがたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。